

定例記者会見資料



○日 時	令和元年6月13日(木) 13時30分～
○会 場	島根県立大学 本部棟2階 特別応接室
○会見者	清原正義 理事長・学長
○会見項目	<p>【3キャンパス共通】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「教育におけるグローバルパートナーズ会議」2020年本学での開催について ……………〔資料1〕 ・「2019年短期日本語・日本文化研修 -The Discover Real Japan Program 2019-」の実施について ……………〔資料2〕 <p>【松江キャンパス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『第46回ほいくまつり』について ……………〔資料3〕
○資料提供項目	<p>【浜田キャンパス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際交流イベント「わくわく！世界のことばと文化」の開催について ……………〔資料4〕 ・島根県立大学の紹介番組の放映について ……………〔資料5〕
○行事予定	<p>【3キャンパス共通】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2019年度オープンキャンパス開催について <ul style="list-style-type: none"> ○浜田キャンパス 8月3日(土) 11:00～15:00 ○出雲キャンパス 7月13日(土) 看護学科、健康栄養学科 12:00～16:30 別科助産学専攻 13:30～16:30 ○松江キャンパス 7月13日(土) 短大部 10:30～12:30 人間文化学部 13:30～15:30 10月19日(土) 短大部 10:00～12:00 人間文化学部 13:30～15:30 <p>【浜田キャンパス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内モンゴル工業大学関係者の学長表敬について ……………6月17日(月)11時00分～ @浜田キャンパス

※会見及び資料提供に関する問い合わせは、資料に記載されている担当者あてにお願いします。
 なお、行事予定の問い合わせは、以下のとおり、お願いします。

浜田キャンパス 企画調整室 TEL 0855-24-2201
 出雲キャンパス 管理課 TEL 0853-20-0200
 松江キャンパス 管理課 TEL 0852-26-5525

島根県立大学
 マスコット
 キャラクター
 オロリン



※次回の定例記者会見は 令和元年7月11日(木) 13:30から開催予定です。

2019年6月13日
島根県立大学 国際交流センター
(担当: ケイン エレナ、岩本)
電話 0855-25-9063

世界 24 カ国 43 大学が加盟する組織「教育におけるグローバルパートナーズ」
テレビ会議システムを活用した英語交流授業の取り組みが評価され
来年5月、本学での会議開催が決定

1. 「教育におけるグローバルパートナーズ」とは？

Global Partners in Education 「教育におけるグローバルパートナーズ」(以下「GPE」)
は、米・イーストカロライナ大学が独自に開発した国際教育プログラムを導入している組
織で、世界 24 カ国 43 大学が加盟している。

本学はこの組織に 2009 年から加盟し、世界の大学とビデオ会
議を使った共同授業を展開しており、2016 年に本学が「優秀機
関賞」、ケイン教授が「優秀コラボレーション賞」を 2 年連続で
受賞。(2016, 2017 年)



2. 開催会議の概要について

平素はオンラインで共同の授業を行っている GPE 加盟メンバーの教育者が年に一度、顔
合わせ、より良い教育方法や共同リサーチのテーマ等について意見交換を行う。

また、会議終了後は国内の産業や歴史施設等の視察を行い開催地の文化を学ぶ。

今年 3 月、この組織が毎年加盟校で開催している会議の来年の開催先として、本学から GPE
本部に提案・招致したところ、これまでの 10 年間の活動が認められ、このたび本学での開催
が決定した。日本では初の開催となる。

会議名称: Global Partners in Education Annual Conference in 2020

開催年月: 2020 年 5 月 (3 日間) + 視察 3 日間

参加者数: 約 45 名 (海外 30 名・国内 15 名)

参加国数: 約 12 カ国 (日本を含む)

開催場所: 島根県立大学浜田キャンパス

2019 年 5 月 16 日コロンビア・ボゴタ市のピロット大学での
GPE XII の最終日、次の学会は島根県立大学で開催する予定
が発表された。

左から 3 番目 本学 江口真理子教授、
右から 2 番目 本学 ケイン・エレナ教授



3. 今後の予定

学内外で構成する会議開催のための実行委員会組織を立ち上げ、来年 5 月の開催に向け準
備を進めていく。

<参考：これまでの取り組み>

島根県立大学では、2010年から異文化理解力向上および英語力向上のために世界の大学とビデオ会議を使って授業を行っています。アメリカ、中国、ロシア、パキスタン、ペルー、メキシコ、台湾、ポーランドとの交流授業があります。これらのバーチャルな交流授業は、英語科目にとどまらず、心理学、国際関係の授業などでも行われ、年間を通じて行われています。

2016年からビデオ会議の授業だけではなく、必修科目においても国際交流に力を入れています。



ビデオ会議授業の様子

2016年には48名の県大生がオランダのHAN大学（ナイメーハン市）、メキシコのモンテレイ大学（モンテレイ市）と共同プロジェクトを結成し、ロシアとポーランドのパートナーが参加しました。Soleというフェイスブックのような教育プラットフォームを使用し、学生が8名ずつのグループでビデオを交換し、最終的に共同プレゼンテーションをおこないました。

2017年は12名の学生（「多文化理解特別演習」受講者）が、ビデオ会議の授業に加え、メキシコの学生とネット上で交流をしています。さらに、必修授業で47人の1年生がオランダHAN大学と交流しました。

2018年からは授業ではなく、興味を持っている学生なら誰でも参加できるような組織を作り、海外の学生とビデオ交流し、今までロシア、コロンビア、ペルーと交流しました。

2019年秋学期からはナイジェリアの学生と交流する予定であり、島根にいなながらグローバルな交流授業を実施しています。

【資料 2】



島根県立大学 短期日本語・日本文化研修

Discover Real Japan Program 2019 の実施について

2019年6月13日

島根県立大学国際交流センター

(担当：大畑)

電話：0855-25-9063

【研修の概要】

目的：・本学の交流協定校をはじめとする海外の大学から日本語学習者を集め、本学の学生や島根県の地域住民との交流を通して、体験的に日本語、日本社会、文化を学ぶ機会を提供することにより、短期留学生の本学への長期留学促進、及び本学学生の異文化理解の促進と長期留学への動機づけにつなげること。

対象者： 本学の交流協定校からの推薦を受けた学生のほか、日本国外の大学の正規課程に在籍し、一定の日本語レベルを有する学生であれば誰でも参加可能

詳細：

コース	浜 田	松 江
期 間	2019年6月25日(火)～7月3日(水) 入寮:6月24日(月) / 退寮:7月5日(金) 11泊	2019年7月10日(水)～7月16日(火) 入寮:7月9日(火) / 退寮:7月18日(木) 9泊
宿 泊	浜田キャンパス 交流センター * 6/29・30 広島市内ホームステイ	しまね国際研修館
日本語 レベル	中級前半 / 日本語能力検定試験 N3 程度 * 日常的な場面で使われる日本語をある程度理解することができるレベル	中級後半以上 / 日本語能力検定試験 N2 程度 * 日常的な場面で使われる日本語の理解に加え、より幅広い場面で使われる日本語をある程度理解することができるレベル
参加者	中国 <small>かきょう</small> 華 僑 大学 (福建省) 韓国 <small>きよんぶく</small> 慶 北 道 立 大学 (慶尚北道 醴 泉 郡) 台湾 <small>たいちゅうかぎ</small> 台 中 科 技 大学 (台中市) <u>合計 3 大学から 6 名</u>	中国 <small>かきょう</small> 華 僑 大学 (福建省) 安徽 <small>あんきざいけい</small> 財 経 大学 (安徽省) 暨南 <small>きなん</small> 大学 (広 東 省) 韓国 <small>きよんぎどぶちよん</small> ソウル 神 学 大 学 校 (京畿道 富 川 市) 台湾 <small>たいちゅうかぎ</small> 台 中 科 技 大学 (台中市) <u>合計 5 大学から 15 名</u>
内 容	<ul style="list-style-type: none"> 日本語授業 語学授業 (中国語・韓国語) 参加 講義体験 (多文化理解特別演習) 日本・地域文化学習 6/26 浜田街歩き 6/27 着付け体験・石見神楽 6/28 和紙作り 7/ 1 津和野町 7/ 2 石見銀山と温泉津 学生交流 6/26 茶道体験 6/28 ミニ運動会 	<p>【松江キャンパス学生との交流授業】</p> <p>「異文化理解演習」</p> <p>7/10 第1回 事前説明</p> <p>7/11 第2回 松江市内ツアー</p> <p>7/12 第3回 成果発表会</p> <p>【しまね国際センター(SIC)プログラム】</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本語・日本文化授業 (松江城、小泉八雲、折り紙など) 国際交流員との懇談 <p>【出雲キャンパス学生との交流】</p> <p>7/15 出雲大社</p>

日程詳細は裏面をご覧ください

【2019年 短期日本語・日本文化研修】日程（浜田コース、松江コース）

☆・・・学外活動

コース	日程			スケジュール			
				午前		午後	
	6月23日	日					
浜田コース	6月24日	月	集合	【入寮】交流センター			
	6月25日	火		オリエンテーション キャンパスツアー	ランチ交流会 市内ツアー	16:00 開講式 17:30 歓迎会	
	6月26日	水	day1		日本語	☆ 日本語「浜田街歩き」	17:00 茶道体験
	6月27日	木	day2		日本語	【文化授業】着付け（仲麻武子先生） 講義体験「中国語・韓国語」	☆「石見神楽」西村社中 訪問
	6月28日	金	day3		日本語	☆「和紙作り」石州和紙会館	16:30 ミニ運動会
	6月29日	土	day4	☆「広島ホームステイ」1			
	6月30日	日	day5	☆「広島ホームステイ」2			
	7月1日	月	day6		日本語	☆「津和野&文化体験」	
	7月2日	火	day7	☆「石見銀山&温泉津」			
	7月3日	水	day8	講義体験 「多文化理解特別演習」	日本語	日本語	17:30 閉講式・送別会
	7月4日	木		(広島へ移動)		(自由)	
	7月5日	金	解散	解散			

コース	日程			スケジュール			
				午前		午後	
松江コース	7月9日	火	集合	【入寮】しまね国際研修館 18:30 歓迎会			
	7月10日	水	day1	【SICプログラム】日本語・日本文化 「読み物（松江城）・松江紹介」	14:00 開講式	15:00 「異文化理解演習」 松江市内ツアー事前説明	
	7月11日	木	day2	9:30 「異文化理解演習」☆ 松江市内ツアー			15:30 「異文化理解演習」 ツアー振り返り
	7月12日	金	day3	9:00 「異文化理解演習」成果発表会準備	13:00 成果発表会 等	【SICプログラム】 国際交流員との懇談会	
	7月13日	土	day4	【SICプログラム】日本語・日本文化 「読み物（小泉八雲作品）」	「演劇（小泉八雲作品）」		
	7月14日	日	day5	(自由)			
	7月15日	月	day6	☆「出雲大社」（出雲キャンパス学生との交流）			
	7月16日	火	day7	【SICプログラム】日本語・日本文化 「折り紙」「スピーチ準備」	「ふりかえり発表会」	17:00 閉講式・送別会	
	7月17日	水		(広島へ移動)		(自由)	
	7月18日	木	解散	解散			

【資料 3】

2019年6月13日

島根県立大学松江キャンパス

担当：保育教育学科 福井一尊（ふくい かずたか）

電話 0852-20-0253

『第46回ほいくまつり』のご案内

1. 目的・趣旨：

本学保育教育学生が、日頃の学習、研究で習得した知識、技能を実社会で発表することによって、自らの保育・教育に対する態度を律し、併せて地域の児童文化の向上に努める。

ポイント①46年間続いている、松江の初夏の風物詩である。

ポイント②毎年、1,500人を超える子どもや保護者の来場がある。

ポイント③セリフや衣装はもちろん、照明や音響も全て学生の手作りである。

2. 日時・期間 2019年6月29日(土) 14:30～16:30(開場 13:45)

3. 場所・会場 島根県民会館大ホール (松江市殿町)

4. 主催者 島根県立大学人間文化学部保育教育学科

5. 発表テーマ・内容 『さあ夢描こう～みんなの笑顔で彩るキャンバス～』

・歌唱 「ゆめのロケットでレッツゴー♪」

・影絵劇 「えすがたあねさま」

・演劇 「ねむりひめ」

6. 出席者・参加人数

対象：幼児、児童とその保護者

予定来場者数：1,500～1,700人

7. 入場料 無料

8. 取り組みの特性・・・ 詳細は「第46回ほいくまつり」の概要のとおり

①全てが手作りであること

(保育教育学科1・2年生87名全員参加で、歌唱・影絵劇・劇・広報・大道具・小道具・司会・音響・効果・照明・衣装の10のパートに分かれて取り組んでいきます。1・2年生が縦割り組織の中で、リーダーシップとフォロワーシップを学びます。なお、その全てが手作りで進められます。)

②保育における「本物」を追求した作品を、県下最大、最高の舞台では披露します。

③「子ども主体」の発表プログラムを学生が一から考え、作り上げます。



※画像は過去の発表内容です

第46回ほいくまつり

趣旨

「ほいくまつり」は本学保育教育学科学生が、日頃の学習、研究で習得した知識、技能を総合表現として実社会において発表するものです。この活動を通して学生自らの保育・教育に対する態度を律し、併せて地域の児童文化の向上に努めることを目的としています。

- 主催 島根県立大学人間文化学部保育教育学科
- 協力 公益財団法人 しまね文化振興財団（島根県民会館）
- 日時 平成30年6月29日(土) 14:30～16:30 終演予定
- 場所 島根県民会館大ホール（松江市殿町）
- 対象 乳幼児、児童とその保護者
- 入場料 無料
- 発表内容
 - ・歌唱 舞台テーマ「ゆめのロケットでレッツゴー♪」
 - ・影絵劇 「えすがたあねさま」
 - ・劇 「ねむりひめ」
- テーマ 『さあ夢描こう～みんなの笑顔で彩るキャンバス～』

【問い合わせ先】

島根県立大学人間文化学部
 美術教育学研究室 准教授 福井 一尊
 電話・Fax：0852-20-0253(直)
 E-mail：k-fukui@u-shimane.ac.jp

「第46回ほいくまつり」概要

○保育教育学科の基本的な教育理念

乳幼児期および児童期の保育、教育、福祉についての知識と理論そして技術を学ぶことを通じ、**高度な専門性・豊かな人間性**をバランス良く兼ね備えた優秀な人材を養成する。

○取り組みの概要

「ほいくまつり」とは、本学が45年間にわたって積み上げ、改善を重ねてきた教育プログラムの名称です。授業の一環としての取り組みであり、保育教育学科全教員がそれぞれの専門的立場から指導・助言を行いながらも、所属学生による自治的・自主的活動を基本としています。内容は歌唱、司会、影絵劇、劇等を総合表現として発表しており、毎年6月末に島根県民会館大ホールにて開催し、1,500名以上の子どもと保護者、保育教育関係者等に会場してもらい、地域にも親しまれている本学科のシンボリック行事です。

- 主 催 島根県立大学人間文化学部保育教育学科
- 日 時 2019年6月29日(土) 開場 13:45 開演 14:30 終演 16:30
- 場 所 島根県民会館 大ホール(松江市殿町)
- 内 容 歌唱、司会、影絵劇「えすがたあねさま」、劇「ねむりひめ」
- 予想来場者数 1,500-1,700人

○「ほいくまつり」の目的、趣旨

- ① 授業科目『表現研究(児童文化)』は、保育教育学科学生が日頃授業で学んでいることを「ほいくまつり」として舞台上で発表します。そのことを通じて地域の保育・教育、児童文化の向上に寄与することを旨とするともに、地域の子どもたちや保護者の皆さんに楽しく夢のあるひとときを過ごしてもらおうという趣旨で開催しています。
- ② 実践活動を通して、子ども理解や児童文化の理解と創造のための力を養い、具体的な表現方法を習得し、保育・教育における知識と技術の総合的な向上を図ります。
- ③ 保育教育学科1・2年生全員による組織的、集団的かつ自治的、自主的活動を通し、相互に豊かな人間性を涵養します。

○取り組みの特性について

1. 全てが手作り

(1・2年生87名全員参加で、歌唱・影絵劇・劇・ポスター&ペンダント・大道具・小道具・司会・音響効果・照明・衣装の10のパートに分かれて取り組んでいきます。1・2年生が縦割り組織の中で、リーダーシップとフォロワーシップを学びます。なお、その全てが手作りで進められます。)

2. 「本物」を最大、最高の舞台上

3. 「子ども主体」の発表プログラム

■「ほいくまつり」のはじまり

昭和48年、島根県立島根女子短期大学に保育科が新設されました。県民が寄せる保育教育への期待には、下記の点がありました。

1. 学生を中心とした前向きで積極的、そして実践的な活動を通して地域の保育サービスをする。
2. 大学生生活で学ぶ知識は単に享受するだけにとどまらず、地域社会の子どもたちと触れ合い、交流する中で還元を図る。
3. 体育的、芸術的、音楽的活動を三本柱として、1・2年全学生と子どもが一緒になり、遊びながら同時に学び、全学生の団結を図る。

これらを実現する具体的な学びの場として、明るく昭和49年7月に第1回『ほいくまつり』が開催されたのです。

45年前、新設間もない保育科の有志学生が中心となり、溢れんばかりの保育教育に寄せる情熱と、探求心、そして夢を全学生で具現化し、発表する形で「ほいくまつり」は誕生しました。その思いは現在に引き継がれており、情熱と、探求心を基軸として全てを手作りで作り上げるという精神は伝統となり、それ以来毎年欠かすことなく『ほいくまつり』は開催され、今年で46回を数えることとなりました。

そして、2018年人間文化学部が誕生し、短大保育学科から、人間文化学部保育教育学科にこの伝統は受け継がれ、発展を続けます。

■文部科学省「特色GP」に採択

本学保育学科のシンボル「ほいくまつり」の取組が、優れた大学教育を支援する平成17年度「特色ある大学教育支援プログラム」（文部科学省公募）に採択されました。

※採択理由（特色ある大学教育支援プログラム実施委員会）

「33年間という長期にわたって継続し発展させてきた『ほいくまつり』は、学生の自治的自主的活動を基本とした取組で、実践的な活動を通じて子どもたちと直接触れ合い、学生が集団の中で互いに高まり合う具体的な学びの場として高く評価できます。この取組は、教育上のねらいも明確で、保育者としての能力の育成とともに、地域への児童文化に寄与できるものです。また、今日まで継続的に取り組んできたことは、地域連携や生涯学習の視点から見ても評価できます。」



2019年6月13日
島根県立大学国際交流センター
担当)小林明子、岩本 哲
電話)0855-24-2274, 25-9063

さんか
参加

むりょう
無料

わくわく！ せかい ぶんか 世界の**ことばと文化**

がいこく ぶんか
外国の文化に
ふれてみよう！

がいこく ぶんか りゅうがくせい
外国の文化を留学生と

いっしょ たいけん
一緒に体験しましょう！

いろいろ くに ぶんか
色々な国のことばと文化を

まな
学んでみませんか。

かっこく がいこくごきょういく
各国の外国語教育についても

しょうかい
紹介します！

いろいろ くに ひと
色々な国の人と

とも
友だちになれるよ！

- ・日 時：7月9日（火）10：00～11：00
- ・場 所：浜田市子育て支援センターすくすく
（浜田市松原町235-1）
- ・対 象：就学前の子ども、保護者 20名程度（先着順）
- ・申込み：事前にお申し込みください
- ・申込み先：浜田市子育て支援センターすくすく

TEL：（0855）22-1253

メール：kosodate@city.hamada.lg.jp

- ・問合せ先：しまね国際センター西部支所

TEL：（0855）28-7990

メール：hamada@sic-info.org



2019年6月13日
島根県立大学企画調整室
担当：武田淳
電話 0855-24-2201

島根県立大学の紹介番組の放映について

青春を島根で過ごす島根県立大学生たちが、地域とともに挑戦するエネルギッシュな学生生活の様子を紹介する番組を放映します。

「地域貢献ナンバーワンの大学」を目指す島根県立大学。

浜田キャンパスの学生たちが取り組む「地域共生」「地域活性化」の活動を取り上げ、学生の取り組みが地域に与える影響を紹介する番組。

【番組情報】「It's 県大スピリッツ -島根県立大学 地域貢献への挑戦-」（仮題）

「ハマフリマ」

OA：2019年6月23日(日) 08:25～08:30 予定 (TSK)

※ 浜田市の住民を巻き込むフリーマーケット〈ハマフリマ〉を取り上げ、学生の取り組みの様子や思いを、住民の反応とともに紹介します。

